

徳良湖

徳良湖の岸边には、お祭り、キャンプ、食事、また休暇を楽しむために、一年中人々が訪れます。徳良湖は、余暇を過ごすのに人気の場所であるとともに、尾花沢の歴史において重要な場所でもあります。「サンビレッジキャンプ場」でのキャンプ、湖畔の温泉「花笠の湯」でのくつろげる入浴、「グラススタジオ旭」でのガラス工芸体験、そして湖畔のレストラン徳良湖で尾花沢の高級和牛を楽しみましょう。また、徳良湖では、カヌーやセーリングといった他のレジャーも楽しむことができます。

徳良湖はため池であり、230 ヘクタールの田んぼを潤すのに十分な水を貯めておけます。徳良湖は、地元の豪商である高宮常太郎が 1919 年に事業に着手し、近くの村々の 7 万人を超える人々の努力によって 1921 年に完成しました。山形県ならではの花笠おどりは、土手の建設作業を行う労働者たちのリズムカルな動きから発展したものです。